



校訓 至誠一貫 ～人間としてまごころを貫き通す子ども～

学校教育目標 まごころをもち、進んで行動できる子どもの育成

本年度の重点目標 自分の決めた目標に向かって、継続して努力する子どもの育成

目標を共有化し、共通実践を行う組織運営

プロジェクト部会の機動化

- ・各部の取組の重点化と見える化
- ・地域、保護者との連携

協働的組織づくり

- ・コーディネータ、構成員の役割の明確化と協働の徹底
- ・配慮を要する児童への対応を図る定期的な会議の実施
- ・ワンチームとして機能する職員集団

まごころ **かしこい子** すすんで

自分の目標を持ち **継続して**学ぶ子ども

やさしい子

相手のことを考え、自分の気持ちを **継続して**伝える子ども

たくましい子

目標に対し **継続して**運動に取り組む子ども

自分の決めた目標に向かって、継続して努力する子どもを育てる教育活動

確かな学力を育てる教育活動

- 基礎・基本を習得する授業
 - ・スモールステップによる目標の設定
- 思考力や表現力を育てる授業
 - ・主体的・対話的な深い学び
- ICTの効果的な活用
 - ・プログラミング教育の充実
 - ・タブレットの有効活用

豊かな心を育てる教育活動

- 規範意識を育てる活動
 - ・道徳教育、学級活動、ソーシャルスキルの充実
 - ・生活のきまりの徹底
- 人権感覚・人間関係を育てる活動
 - ・キラリボックスの活用
 - ・自分のよさの発表
 - ・将来の夢の発表
 - ・児童による挨拶運動の実施

健やかな体を育てる教育活動

- 目標に対し継続して運動に取り組む活動
 - ・縄跳び検定の設定
 - ・異学年による遊びの奨励
- 安全教育の実施
 - ・新型コロナウイルス感染症対策の徹底
 - ・判断を伴う避難訓練の実施
 - ・安全点検と改善の徹底
 - ・えなみっ子カードの活用

指導力・専門性を高める研修・評価

研修の充実

- ・思考力や表現力を育てる授業の創造
- ・学校の課題に関する一般研修の充実

自己評価の活用

- ・スモールステップによる自己評価の充実

鍛ほめ福岡メソッドの活用

- ・目標をもつ→自分でチャレンジ→褒めるの日常化

学校と地域が共に「まごころ」を進んで育てよう

- ・学校がめざす子どもの姿や取組の積極的な発信(学校通信・学校HPの活用)

- ・PTAとの連携(えなみ家庭教育宣言の啓発)
- ・おやじの会・家庭教育学級との連携

- ・えなみスクールネットとの連携
- ・フラワーバンクとの連携

- ・学校関係者評価委員会の円滑な推進と活用